

※記載例を参照の上、ご記入ください。

(様式第3号)

企業・団体名(エヌ・エス・エス株式会社)

SDGs達成に向けた具体的な取組 (要件2) 【R5.11.30様式改定】

カテゴリー	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本			従業員の様々な背景を理解し、差別のない雇用条件の整備をしている。さらに、取締役が積極的に現状把握に勤め、定期的な面談を実施している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本			就業規則にハラスメント禁止条項を明記している。さらに担当役員による相談窓口を設け、ハラスメントによるストレス負荷の無い職場環境を整備している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本			20時以降の残業、及びに不要な休日出勤を禁止としている。休日に業務を行った従業員には、代休の積極取得を奨励している。								8.5 8.8									
4	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	【非該当】		外国人労働者を雇用していない為				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
5 人権・労働	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本			工場内作業においては従業員に安全靴・ヘルメットを支給している。さらに、2時間ごとに休憩時間を設け、不注意や過負荷による危険の回避に努めている。また5S活動を通じ、安全衛生上の問題を洗い出し、対策を講じる仕組みを構築している。			3					8									
6	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本			メンタルヘルスに応じた休暇取得、及び休職の奨励や、フレックスタイム制を導入している。また、担当役員が定期的に面談を行い、従業員のメンタルヘルス状態の把握を行っている。			3														
7	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本			経営方針に「多様な人材の活躍」を掲げ、多様な人材採用やインクルージョンを目指した職場環境作りを行っている。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本			資格取得の奨励や資格取得のための費用サポートを行い学べる環境を整えている。			4	5.5				8	9								
9	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本			働き方改革に従い従業員に公平な待遇をしている。					5.5			8.5		10.2 10.3							
10	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ			年1回の健康診断を実施し、健康状態の把握を行っている。また、朝礼にてラジオ体操を取り入れている。新型コロナウイルス感染予防対策としては、空気清浄機を設置している。			3					8									
11 環境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本			廃棄物責任者を設置し、廃棄物を管理している。さらに責任者が従業員に対して適切な処理の意識付けを行っている。										11.6 12.4			14.1				
12	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本			省エネを目的として室内温度の設定基準を設け、順守している。エネルギー使用量を見える化し、具体的な使用量の把握を行っている。							7.3					13					
13	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本			建物空調設備を省エネ対応製品へと入替えを実施した。また社用車の80%をHBV車とし、Co2排出抑制を行っている。							7.2 7.3				12.4	13.3					
14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本			RoHS指令に準拠し、適切な原材料を調達している。			3.9			6.3					11.6 12.4						

カ テ ゴ リ	チェック項目	取組 レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】の 場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
環 境	【生物多様性】 ・ 自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本			5S活動で金属や電子機器などの産業廃棄物を管理し、定められたプロセスでの処分を実施している。						6.6									15		
	【3Rの推進】 ・ リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本			廃棄金属や廃棄配線を管理し、リサイクル業者への提供を行っている。また、プラスチック削減の為に弁当ゴミ・ペットボトルゴミの持ち帰りや、梱包材の再利用を徹底している。											12.5		14.1				
	【水の管理】 ・ 水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ			水資源の使用量について毎月の状況を把握している。						6.4 6.6											
	【環境マネジメントシステム】 ・ ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ		【予定】	2024年10月までに南信州いいむす21を取得する			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
	【環境情報開示】 ・ 環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ		【予定】	2025年3月までにHPや広報活動資料に環境活動への取組みを公開する												12.6					
	【再生可能エネルギーの利用】 ・ 再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ			建物照明を蛍光灯から高効率LEDへと入替えを実施している。また、EV用電気スタンドの設置を完了し、社用車の8割をHV自動車に変更した。							7.2						13				
公 正 な 事 業 慣 行	【天然資源の持続的利用】 ・ 天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ			環境に配慮した消耗品、並びに事務用品の利用を推進している。												12.2	13	14	15		
	【汚職・贈収賄防止】 ・ 汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本			汚職・贈収賄防止の為に教育を社員に行っている。																16 16.5	
	【公正な競争】 ・ 不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本			不正競争行為防止の為に教育を社員に行っている。																	16
	【知的財産保護】 ・ 知的財産の保護に取り組んでいる	基本			顧客、または受注案件ごとに秘密保持契約を結び、知的財産の保護に努めている。								8.2 8.3	9								
	【個人情報保護】 ・ 個人情報を適切に管理している	基本			従業員の個人情報を社内ルールに則り、適切に管理している。また、ITリテラシーを高める啓蒙活動を行うことで、意図しない個人情報の流出を防止している。																16	
	【紛争鉱物】 ・ 紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ			自社製品の原材料サプライチェーンを把握している。																	16
	【サプライチェーン管理】 ・ サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ			一部取引先と自社における取組みの確認活動を行っている。					5			8		10		12	13	14	15	16	17
	【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5～追加) ・ 中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している	基本		【予定】	「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表する予定である。			3					8	9	10							17

	チェック項目	取組 レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】の 場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
29	製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本		安全チェックシートを作成し、製品出荷前に安全確認を実施している。さらに、安全確保の為に取扱説明書を作成し、顧客へ提供している。			3.9									12.4							
30		【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本		品質保証期間を設け、顧客からのクレーム対応や細かな要望に応える仕組みを構築している。また、全部門の責任者による会議を実施し、想定されるリスク洗出しや改善策を提案する機会を設けている。								9											
31		【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ			RoHS指令に準拠し、環境に配慮した原材料の調達を行っている。						6					12	13	14	15				
32		【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ			省力化自動設備(FA設備)を開発・販売することで、工場の人手不足に貢献している。 新たにIoT化製品を開発し更なる労働環境の改善に貢献している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
33	社会貢献・地域貢献	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本		近隣住民に対する、大型トラックの往來の周知や騒音対策を講じている。また、地元高校の職場見学を受け入れ、地域が求める企業像の把握に努めている。				4					9		11	12		14	15		17		
34		【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ		近隣保育園の防災・防犯活動に参画している。また、地域のゴミ収集所を整備し、地域衛生に貢献している。				4							11			14	15		17		
35		【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地産地産、地産外商）している	チャレンジ			地域内のサプライヤーを積極的に利用している。また、自社製品を地域内顧客へ販売し、地産地消に務めている。								8	9		11	12	13					
36	組織体制	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内でも共有している	基本		経営理念や経営目標を全社員に説明する場を設け、共有している。									8	9							17		
37		【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本		朝礼や経営会議の場でコンプライアンスの重要性を共有している。																	16		
38		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本		取締役が責任者として対応している。																	16		
39		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本		多様なステークホルダーへの影響を意識し、必要に応じて対話する機会を設けている。																	16	17	
40		【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ			全部門の責任者による会議を実施し、リスクの洗出しや評価・改善を行う仕組みを構築している。																16		
41		【社会的責任】 ・CSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ			自社のCSR方針を従業員に周知し、社会的責任を全うする企業活動を行っている。																16		
42		【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ		【予定】	火災時の避難計画は策定し周知している。 2025年3月までにその他災害時の計画を策定する。									9		11		13 13.1			16		
43	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ			事業承継計画を策定し、実施している。								8	9								17		

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）

・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。

・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。
（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

- この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成
- 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は黒字、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、赤字で番号を記載
- 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載
- ※1…組織の社会的責任に関する国際規格 ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定